

# 分析機器部門講習会シリーズ

## プロメガ発光セミナー

基礎編：バイオルミネッセンスの基礎「これだけは知っておきたい発光アッセイ技術」

応用編：レポーターアッセイの基礎「失敗しないレポーターアッセイを構築しよう」

日 時：平成27年6月16日(火) 13:30～15:00

### 基礎編 「バイオルミネッセンスの基礎「これだけは知っておきたい発光アッセイ技術」

近年、発光測定が一般的になってきた一方で、高感度検出として蛍光との使い分けが重要になりつつあります。そこで、試薬および装置の両観点から、発光のメリットを説明し、また原理的に発光で何ができるか概論します。

- (1) ルシフェラーゼ発光の原理と特徴 - ケミストリーおよび検出器の観点から-
- (2) ルシフェラーゼ発光反応を用いた様々な測定 (概論)

### 応用編 第一回 レポーターアッセイの基礎「失敗しないレポーターアッセイを構築しよう」

レポーターアッセイは、遺伝子発現の活性を相当するタンパク質量を測定する代わりに代替酵素の活性に変えて測定する技術として開発されました。しかし、細胞を用いたアッセイ系ゆえに非細胞系に比較し、非常に多くの工夫の余地があります。現在はルシフェラーゼを用いたものが主な手法となり、レポーターアッセイが故に起きる問題点を解決すべく、様々な改良が加えられてきました。

このセミナーでは、レポーターアッセイの基礎として、レポーターアッセイの応用範囲のみならず、ベクターの選択、基質の選択等々、アッセイの構築法を紹介します。また最新情報として、これまでとは違う次元のアッセイを可能とする新製品、NanoDLR もご紹介いたします。

レポーターアッセイの基礎

レポーターアッセイの改良 (ベクター、試薬、アッセイデザインの改良)

レポーターアッセイでできることは? (プロモーター解析、シグナル解析、PPI 他)

Tips & Techniques (レポーターデザイン、細胞の選び方、細胞培養条件他)

受講対象：細胞を扱った実験を行う方、今後予定のある方

場 所：医系研究棟3号館4階実習室

定 員：20名

申込期間：平成27年6月5日(金)まで

申込方法：電子メールで、「講習会名」、subjectをpromegaとし、「所属講座」、「氏名」、「内線番号」、「電子メールアドレス」を明記の上、  
yitoh@med.nagoya-u.ac.jp宛にお申し込みください。

### お問い合わせ先

医学教育研究支援センター 分析機器部門

担当:伊藤(内線:2403、Email: yitoh@med.nagoya-u.ac.jp)

※Webでも講習会情報を掲載しています (<http://www.med.nagoya-u.ac.jp/kiki/workshop/index.html>)